

# 重点目標一覧表

担当部局名	生活環境部
-------	-------

【平成28年度重点目標】

【平成29年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目(箇条書き)	達成状況・達成度	重点目標	具体的な重点取組項目(箇条書き)	期限・数値目標等
1	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成 (1)対策連絡会を構成する団体ごとの説明会や意見交換会の開催 (2)地元自治会等への地域振興策の提案 し尿前処理下水道投入施設建設に向けた地元自治会との合意形成 (1)地元自治会を対象とした説明会の開催 (2)施設を理解していただくための先進地視察等の実施	(1)対策連絡会との懇談会を実施(6月23日、12月21日) (2)地元へ提案するための地域振興策を検討  (1)地元説明会を実施(10月16日、10月22日) (2)南部終末処理場現地見学会の実施(6月12日)	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成	資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元自治会との合意形成 (1)地元自治会との合意形成に向けた取組の推進 (2)環境影響の総合的調査と地元への情報提供 し尿前処理下水道投入施設建設に向けた地元自治会との合意形成	(1)対策連絡会を構成する団体ごとの説明会や意見交換会を実施 (2)環境影響評価などの調査に着手 住民説明会の実施と、課題解決のための具体的対応策を実施
2	資源循環型社会の形成に向けたごみの減量化・再資源化の推進 具体的な重点取組項目(箇条書き) ごみ処理広域化計画に定められた減量化目標を達成するためのごみ減量推進施策の実施・検討 生ごみの減量化・堆肥化 (1)「やさいまる」事業の継続、「生ごみ出しません袋」の配布 (2)ごみ減量化機器等の普及促進 (3)大型処理機による生ごみ堆肥化モデル事業の実施と検証 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 ごみ減量アドバイザー、エコハウス、「キャッチャーズ」の活用による情報提供・啓発事業 (ごみ集積所プレート等の設置)	H28可燃ごみ処理量 34,210 t (前年度比 34 t 0.10%) 生ごみの減量化・堆肥化 (1)やさいまるポイント交換171回、生ごみ出しません袋12,460枚配布 (2)ごみ減量化機器 申請件数300件、補助額7,204千円 (3)モデル事業を2地区で実施 ・ごみ減量化・再資源化に関する自治会説明会の開催(31自治会実施済) ・全自治会のごみ集積所を対象に啓発用プレートの製作・配布 ・自治会、公共施設等に啓発用ポスターの配布 ・広報うえだ特集記事連載(12回)	循環型社会の形成に向けたごみの減量化・再資源化の推進	ごみ処理広域化計画に定められた減量化目標を達成するためのごみ減量推進施策の実施・検討 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 食品ロス削減の取組による情報提供・啓発事業 「ごみ減量行動計画(アクションプラン)」の策定 事業系可燃ごみ減量の推進 生ごみの減量化・堆肥化 (1)「やさいまる」、「生ごみ出しません袋」事業の継続 (2)ごみ減量化機器等の普及促進 (3)大型処理機による生ごみ堆肥化モデル事業の実施と検証	可燃ごみの減量目標 前年度比 652 t (1.9%) 年内 減量目標 前年度比 232 t (1.9%)  (1)「やさいまる」ポイント交換数:200回 「生ごみ出しません袋」登録:800世帯 (2)補助台数:400台、配布機材:1,600個 (3)通年
3	犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進 具体的な重点取組項目(箇条書き) 特殊詐欺等被害防止連絡協議会を開催し、情報の共有化により被害の未然防止を図る 特殊詐欺等被害防止大会の開催  防犯意識の高揚と被害防止の推進  自治会及び関係機関等と協働した防犯パトロールの実施  子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進  シートベルト、チャイルドシートの着用率の向上	特殊詐欺等連絡協議会2回、被害防止大会1回 被害認知件数 21件(前年比 20件、49%) 被害額 22,540,111円(前年比 87,250,225円、79%) 防犯灯更新費用に対する補助の拡充 地域安全運動 年4回実施 刑法犯認知件数 818件(前年比 115件、12%) 駅前パト26回、青パト210回、 千本桜まつり5回、夏祭りパト2回 交通安全教室102回 高齢者及びウォーキング団体等へ夜光反射材の配布 事故発生件数 788件(前年比 26件、3%) シートベルト99.0%、チャイルドシート100%	地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全	環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進する第2次環境基本計画の策定 公共施設のCO2排出量削減に向けた取り組みの推進 (1)地球温暖化防止実行計画(第四次エコオフィスうえだ)の策定 再生可能エネルギー利活用の推進 (1)住宅用太陽光発電、太陽熱高度利用システムの普及と効果的な補助制度の検討 省エネルギーの推進 (1)緑のカーテン普及 (2)市民主体の普及啓発事業支援 環境保全施策の推進 (1)全市一斉アレルギー駆除 (2)不法投棄防止パトロールの実施	年度内 (1)年度内  (1)太陽光250件、太陽熱10件、 補助制度の見直し  (1)緑のカーテン100件以上 (2)会議等の支援  (1)6月 (2)1,150回以上
4	地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全 具体的な重点取組項目(箇条書き) 公共施設のCO2排出量削減に向けた取り組みの推進 (1)地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業を活用した低炭素化の手法の検討 再生可能エネルギー利活用の推進 (1)住宅用太陽光発電、太陽熱高度利用システムの普及 (2)太陽光発電市所有施設屋根等貸付事業の推進 省エネルギーの推進 (1)第三次エコオフィスうえだに基づいた温暖化防止対策の推進 (2)緑のカーテン普及 (3)市民主体の普及啓発事業支援 環境保全施策の推進 (1)全市一斉アレルギー駆除 (2)レジ袋削減・マイバッグ持参運動 (3)不法投棄防止パトロールの実施 (4)河川一斉パトロールの実施	(1)市施設のエネルギー消費特性やCO2削減効果のある設備の導入方法を明確化 (1)太陽光補助264件、太陽熱補助10件 (2)事業者が決定せず、事業を次年度へ延期 (1)夏の節電目標を達成 (2)緑のカーテン66件 (3)うえだ環境市民会議活動支援(総会1回、清掃活動3回、企画会議6回、環境イベント6回) (1)アレルギー駆除(人数3,693人、駆除量6,053kg) (2)マイバッグ持参率65.4% (3)不法投棄パト1,140回 (4)河川一斉パト2回	犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進	特殊詐欺等被害防止連絡協議会を開催し、情報交換による、効果的な未然防止策の推進 特殊詐欺等被害防止対策機器の普及促進 防犯意識の高揚と被害防止の推進 自治会及び関係機関等と協働した防犯パトロールの実施  子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進	特殊詐欺等連絡協議会2回  補助台数160台 地域安全運動 年4回実施 駅前パト25回、青パト210回、 千本桜まつり5回、夏祭りパト2回 交通安全教室50回以上実施 高齢者及びウォーキング団体等へ夜光反射材の配布
5	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上 具体的な重点取組項目(箇条書き) 住環境整備の推進及び市営住宅等長寿命化計画(仮称)の検討 (1)給湯器・浴槽設置事業の実施 (2)住宅整備の方針(素案)を検討 住宅使用料の収納率の向上 (1)現年度分収納率 95%以上(2)滞納繰越分収納率 過去3年間の実績平均(12.4%)以上 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組	(1)中丸子団地2棟36戸分(B、C棟)を整備 (2)国が示す策定指針を基に方針・素案を検討 (1)90.3%(昨年同期比0.9%増) 3月31日現在 (2)14.4%(昨年同期比0.7%減) 3月31日現在 催告書の積極的送付を実施。訴訟対象者7名のうち、全納を含めすべて誠意ある対応が得られた。	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上	市営住宅等長寿命化計画の策定及び住環境整備の推進 (1)上田市市営住宅等長寿命化計画の策定 (2)耐用年数のある3団地(岩門、古里、下之郷桜)の耐震診断実施 (3)給湯、給水整備事業の実施 住宅使用料の収納率の向上 (1)現年度分収納率 95%以上、滞納繰越分収納率 過去3年間の実績平均以上 (2)誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組	(1)年度内 (2)12月末 (3)中丸子団地2棟24戸(継続) 【再掲:丸子地域自治会C】 (1)現年度95%以上、 滞納繰越分13.9%以上 (2)催告書、連帯保証人への送付と法的措置を視野に入れた取組

評価基準 [ : 目標を上回る達成 ] [ : 目標どおり達成 ] [ : 目標未達成の部分あり ] [ x : 全て目標未達成 ]

市長指示事項	市長指示事項
・他市のごみ減量化についても研究すること。・市職員や広域連合職員のごみ減量の取り組みについても公表すること。・お湯等を活用したバイナリ発電について研究すること。・し尿前処理施設下水道投入施設の建設に向けては、各課題に対して粘り	・資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成については、全力で取り組むこと。 ・食品ロス削減に向けた啓発を丁寧に行うこと。

